

みんなの丸亀

編集・発行／丸亀市コミュニティ協議会連合会・丸亀市連合自治会
丸亀市大手町二丁目4番21号 TEL0877-24-8809

第4号 令和4年9月

令和4年度コミュニティ協議会連合会・連合自治会総会

令和4年度コミュニティ協議会連合会・連合自治会総会が6月29日、ひまわりセンターで開催されました。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大により書面総会としたため、2年ぶりの対面での総会に各地区の代議員45名が出席しました。また、来賓として松永市長、武田市議会都市環境委員長、末澤教育長にご出席いただきました。

総会では令和3年度事業報告・収支決算報告など5議案が審議され、すべて承認されました。

各議案の概要

議案第1号 令和3年度事業報告

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、コミュニティ・自治会長研修会は中止した。自治会功勞者、コミュニティ功勞者への表彰状は郵送及びコミュニティ経由で届けた。

1月には北淡震災記念公園(淡路市)にて防災研修を行う予定だったが、オミクロン株の急拡大により中止した。

議案第2号 令和3年度コミュニティ協議会連合会決算及び連合自治会決算

コロナ禍により事業実施ができなかったため、市の補助金、共同募金の助成金を一部返還した。

コミュニティ協議会連合会は158万5,606円の収入に対し、支出額は116万2,964円、次年度繰越金は42万2,642円。

連合自治会は73万8,443円の収入に対し、支出額は61万4,105円、次年度繰越金は12万4,338円。

議案第3号 令和4年度事業計画

コロナの状況を見ながらコミュニティ・自治会長研修会、合同防災訓練、会報発行などの活動を行う。

議案第4号 令和4年度コミュニティ協議会連合会予算及び連合自治会予算

●コミュニティ協議会連合会予算141万4,000円

収入の主なもの、前年度繰越金の会費5万1,000円、市補助金64万円、共同募金助成金30万円など。

支出の主なものは、自治会長研修会等にかかる研修費50万円、合同防災訓練にかかる活動費30万円、役員会費15万円など。

●連合自治会予算45万円

収入の主なものは、前年度繰越金、会費8万5,000円、共同募金助成金24万円など。

支出の主なものは、会報発行や全国自治会連合会大会の参加にかかる研修費33万円、役員会費6万円など。

議案第5号 役員選任

地区役員の変更に伴い、一部役員の変更を行う。

○副会長 (旧)玉井 弘一(城坤地区)

(新)高畑 美嗣(土器地区)

○コミュニティ協議会連合会監事

(旧)大谷 透(川西地区)

(新)田所 育雄(川西地区)

令和4年度主な行事・取り組み

- 理事会(年5回)
- 会の運営に関する協議を行うほか、市・関係機関と情報共有を行う
- コミュニティ・自治会長研修会(8/21)
- 合同防災訓練(1/14)
- 会報「みんなの丸亀」発行

役員紹介

任期：令和5年度総会まで

会長 岩崎 正朔(川西地区)

副会長 進 和彦(飯山南地区)

宮脇 隆(城西地区)

高畑 美嗣(土器地区)

コミュニティ協議会連合会監事

秦 佳子(飯山南地区)

田所 育雄(川西地区)

連合自治会監事

玉井 豊夫(川西地区)

池内 右典(城坤地区)



総会の様子

この会報は赤い羽根共同募金の助成により作成しています。

地域の賑わいを取り戻すコミュニティの取り組み

岡田コミュニティまつり4年ぶりの開催

第8回岡田コミュニティまつりが5月15日、岡田コミュニティセンターで開催されました。

5月は新型コロナウイルスの感染状況が比較的落ち着いていた時期でありましたが、来場者の



岡田小学校マーチングバンドの演奏

検温やリストバンド着用、食品の提供はすべてテイクアウトとするなど、感染対策を実施したうえで、開催に、地域の方を中心に1,800人を超える来場がありました。

第1会場の岡田コミュニティセンターでは、マーチングバンドの演奏や地域のおどりが披露されたほか、生涯学習クラブの作品展示などが行われました。



日頃の力作を展示

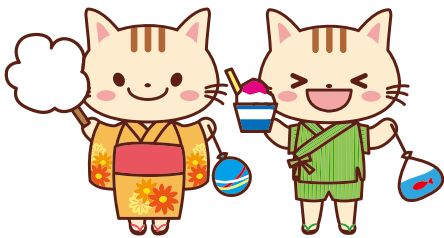
第2会場の

岡田ふれあい広場(岡田幼稚園跡地公園)では、雑貨などを販売する「岡田マルシェ」やパトカー、白バイの展示がありました。

まつりは隔年で開催されており、前回は

コロナで中止となったため4年ぶりの開催となりましたが、会場には子どもたちの笑顔が溢れ、あらためて地域住民が触れ合う行事の意義を感じました。

多くのコミュニティは、今年こそコミュニティまつりを開催したいとの強い思いがありますが、残念ながら第7波の感染拡大があり、開催の判断が難しい状況となっています。一日も早くコロナが収束し、みんなが安心して参加出来るまつりが開催できることを願っています。



にぎわう 岡田マルシェ

自治会活動応援補助金の活用で 地域の絆を深めよう

「地域の絆」を深める活動に取り組む自治会を応援するため、市は「自治会活動応援補助金」を設けています。安心して暮らせる地域社会に向け、補助金を活用して自治会活動の活性化に取り組んでみませんか。

補助対象となる事業

- 未加入世帯や転入世帯に対する説明会の開催
 - 親睦行事の開催
 - 高齢者の生活支援
 - 防災避難訓練
 - 地域の清掃活動 など
- ※いずれも、**新たに取組む**主体的な活動であることが必要です。

対象とならない事業・経費

- 営利を目的とする事業
- 政治的活動に関する事業
- 宗教的活動に関する事業
- 地域の祭り等の行事に含まれる事業
- 毎年行われている清掃活動
- 定期的に行われている親睦行事
- 集会場の修繕費用や備品購入費

補助金額 1年度につき3万円以内

詳しくは、市役所生活環境課コミュニティ担当までお気軽にお問合せください。 TEL24-88009



令和4年度 コミュニティ表彰選定委員会を開催



まちづくり大賞は ふれあい城坤

コミュニティ活動に対する市長表彰を選考する令和4年度コミュニティ表彰選定委員会が7月12日、マルタスで開催されました。

本年度の選定委員会には、城坤、飯野、栗熊、飯山南の4地区がエントリーし、特色ある取り組みを発表しました。栗熊地区は、地区の取り組みの基礎となるまちづくり計画の策定に向けたアンケート調査や結果の分析、課題の整理を経て策定された第3期まちづくり計画の重点目標や取り組み事業を発表しました。

飯野地区は、新しくなったコミュニティセンターのキッズスペースを利用し、子育て中の方が集い交流する「おじよもんひろば」の取り組みを、子どもたちが行う遊びや工作の実演を織り交ぜながらユーモラスに発表しました。

城坤地区は、コミュニティのメンバーが手作りし、地域の子どもたちが絵を描いたベンチを散歩道に設置し、地域の憩いの場・ふれあいの場所をつくる取り組みを発表しました。

飯山南地区は、地区で予定されている

公園整備に向けたコミュニティの取り組みと、学校と地域の連携を深めるためのコミュニティの意識向上の取り組みを紹介しました。

各地区から発表された取り組みは、コミュニティ協議会連合会役員や学識経験者で構成された選定委員会による審査が行われ、ふれあい城坤（城坤地区）が最優秀となる「まちづくり大賞」に、飯山南コミュニティ協議会（飯山南地区）が「まちづくり優秀賞」に選ばれました。

大賞、優秀賞に選ばれた2地区は、8月21日に開催されたコミュニティ・自治会長研修で事例発表を行いました。

まちづくり大賞

ふれあい城坤

・ちよつとひとやすみでできるベンチづくり

まちづくり優秀賞

飯山南コミュニティ協議会

・都市公園づくり、地域と共にある学校づくりに向けて

各地区発表の様



飯山南地区



城坤地区



飯野地区



栗熊地区



生涯学習クラブ活動のご案内

趣味として何か始めたいとお考えの方、生涯学習クラブに入ってみませんか。

音楽、美術、英会話、茶道、囲碁将棋など、さまざまなジャンルのクラブが活動しています。

生涯学習センターで活動する中央生涯学習クラブのほか、コミュニティセンターでも地域のクラブが自主的に活動を行っています。

初心者の方も歓迎していますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

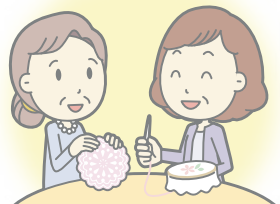
お問い合わせ先

● 中央生涯学習クラブに関すること

丸亀市生涯学習課 TEL351-7628

● 地域のクラブに関すること

各コミュニティセンター



栗熊地区

栗熊コミュニティでは、令和4年度に第三期まちづくり計画「ふれあいと助け合いのまち栗熊」をテーマに、5つの重点目標を掲げ活動しています。

① 健康で安心して生活するまち

高齢者介護予防の為に健康講座、体操教室を開催し、クリックマン見守り隊による子供たちの見守りをしています。

② 心豊かな子供が育つまち

夏休み期間中に親子活動イベント、JAと共同で野菜の栽培体験、あいさつ運動の推進をします。

③ みんなが助け合うまち

自治会活動の活性化、自治会加入促進に



コミュニティセンターに新しくできた住民の交流室

取り組み、自主防災訓練や避難所運営訓練を学校や自治会と協力して行います。

④ にぎわいと活力のあるまち

住民の多くが参加するコミュニティ祭りを開催し、住民がふれあう交流室を栗熊コミュニティ内に設けます。

⑤ 自然や歴史文化を大切にすまち

「快天山古墳」などの地域の文化財や歴史について、啓蒙活動をし、住民を対象とした天体観測を毎月開催します。



クリックマン見守り隊の活動

みんなのコミュニティ

コミュニティの取り組みを紹介します。

広島地区

「ふれ愛の町ひろしまをつくる会」は、広島・小手島・手島の3島で組織され、それぞれの島の特性を生かしつつ、地域住民の信頼関係に基づく生活共同体として、心豊かな住みよいまちづくりに取り組んでいます。

現在、島では人口減少と高齢化が進んでおり、豊かな自然や文化、島民の暮らしを守り受け継いでいくことが大きな課題となっています。

そうした中、平成30年3月に旧広島中学校をコミュニティセンター、市民センター、消防屯所の機能を備えた複合施設に改修し、島の新たな拠点として、コミュニティ活動の更なる推進に努めています。また、ここ数年はコロナのため十分な活動はできていませんが、島をあげてのイベントであるお大師まいりやいろは石ウォーク、ふれ愛まつりには、島外からの参加者で賑わい、地域間交流が図られています。

今後、地域コミュニティの維持・活性化には、交流人口の拡大や移住・定住の促進が重要となりますが、近年、島の環境を気に入って移住する若者が増えるなど明るい話題もあります。

瀬戸内の島々が注目されるようになり、令和元年度には、広島島の石の歴史・文化が「日本遺産」に認定されました。これらを足掛かりに、3島がより連携を図り、魅力ある資源を活用しながら島を元気にしていきたいと考えております。皆様も機会を見つけて、ぜひ島に足を運んでいただければ幸いです。



広島コミュニティセンター